

平成 28年 6月 13日

研究公開用文書

研究名：

卵巣明細胞癌特異的新規腫瘍マーカーとしての有用性に関する多施設共同研究

研究の概要：

卵巣がんは漿液性、明細胞、類内膜および粘液性と主に4つのタイプがあります。その中でも明細胞がんは、良性・悪性の判別が難しく、代表的な卵巣がんマーカーであるCA125では、良性の内膜症嚢胞と明細胞がんとの区別が困難という問題があります。

しかし、本マーカーは血液診断で明細胞がんを判別できる可能性があり、本研究でその有用性が証明されれば、卵巣明細胞がんにおける的確な診断・治療ができるようになると期待されています。

また本試験は企業との共同研究であり、同企業が将来、本試験の結果を体外診断用医薬品の製造販売承認申請、保険適用申請等に利用する可能性があります。

本試験のデータ利用については患者さんもしくは遺族は拒否することができます。拒否した場合も患者さんにとって不利益になることはありません。

研究対象：

2014年4月から2016年6月（研究機関の長が本試験を許可した日）までに横浜市立大学附属病院産婦人科で手術を受け、上皮性境界悪性腫瘍または上皮性卵巣がんを診断を受け、術前に血液を採取された患者さんが対象者となります。

研究責任者：

横浜市立大学 附属病院

所属：産婦人科 氏名：宮城 悦子

研究実施期間：

研究機関の長が本試験を許可した日 ～ 平成30年6月30日

連絡先：

横浜市立大学 附属病院

所属：産婦人科 氏名：宮城 悦子

〒：236-0004 住所：横浜市金沢区福浦3-9

電話：045-787-2800